

院内疼痛緩和関連ツール

疼痛マネジメントに使用できる院内のツール

- ✓ 「患者カルテ開く」→「共通」→「文書作成」→「看護部」→「緩和ケア」から選択し印刷する。
- ✓ 記載後、必ずスキャンを行う。

◆痛みのアセスメントシート

痛みの緩和に必要な情報を効率よく得ることができる

客観的データとして、医療チーム内で共有できる

患者は、同じことを何度も答える負担がなくなる

患者自身が痛みの表現方法を理解し、医療者に伝える術を知る

◆痛みの記録

疼痛緩和治療が開始、または変更された時などに活用する

患者自身が疼痛の推移を客観的に把握することができる

痛みの記録をつけることが目的ではない、早期に痛みの緩和に繋げる事が目的

NRSの使用が適していない場合

患者の意識レベルの低下、痛みを数字で表現することが困難

痛みの強さ以外の記録の注目点

レスキューの使用状況、オピオイドの副作用の観察

痛みのアセスメントシート、痛みの記録について

- ✓ 「患者カルテ開く」→「共通」→「文書作成」→「看護部」→「緩和ケア」から選択し印刷する。
- ✓ 記載後、必ずスキャンを行う。

患者の ID


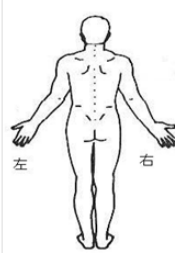
痛みのアセスメントシート



記入年月日

記入者 患者本人 家族 看護師 その他

どこがどんなふうに痛いのか、どれくらい痛いのかを一番わかっているのは患者さんご自身です。この用紙は私たち、医療者が患者さんの痛みについて知り、痛みを和らげるために使用します。ぜひ、今の患者さんの痛みについて教えていただきたく、以下の質問に記入をお願い致します。

1. 痛みの部位；身体の痛みを感じている部分に斜線//をつけて下さい。
その部位の中で痛みが最も強いところには×印して下さい。

2. 痛みの強さ：あてはまる数字に○をつけて下さい

1) この24時間であなたが感じた安静時の痛みはどれくらいになりますか？

痛くない これ以上の痛み

は

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

考えられない

2) この24時間であなたが感じた最も強い痛みはどれくらいでしたか？

痛くない これ以上の痛み

は

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

考えられない

3. 痛みの性質：どのような痛みですか？

ずきずき
 灼けるよう
 びりびり
 鈍い
 しめつける感じ

4. 現在感じている痛みはいつ頃から始まりましたか？

1) 痛みの場所 _____ 年 _____ 月頃から

2) 痛みの場所 _____ 年 _____ 月頃から

3) 痛みはどれくらい続きますか？

一日中痛い
 時々、発作的に痛む
 動いたりするときだけ痛む

5. どのようなことが痛みを強くしますか？

座る、立つ
 歩く
 身体に向きを変える
 温める
 冷やす
 その他 (_____)

5. 痛みを楽にするためにご自分で工夫していることがありますか

温める
 冷やす
 マッサージ
 その他 (_____)

7. この24時間のうちで、痛みがどれほどあなたの生活に支障となりましたか？最も近いもの○をつけてください。

1) 日常生活全般	支障なし	少し支障がある	支障がある	かなり支障がある
2) 睡眠	支障なし	少し支障がある	支障がある	かなり支障がある
(例：痛みで寝付けない、寝ても起きてしまう、全く眠れない)				
3) 食事	支障なし	少し支障がある	支障がある	かなり支障がある
(例：痛みで食欲がない、長く座れないので食事が減った)				
4) 排泄	支障なし	少し支障がある	支障がある	かなり支障がある
(例：痛みで便秘になった、下痢になった)				
5) 家事や仕事	支障なし	少し支障がある	支障がある	かなり支障がある
(例：手伝いが必要、全く出来ない)				
6) 歩行	支障なし	少し支障がある	支障がある	かなり支障がある
(例：杖など使う、車いすが必要になった)				
7) 気持ち	支障なし	少し支障がある	支障がある	かなり支障がある
(例：いつも痛みが気になる、いらいらする 人に当たる)				

8. 痛みはまずどれくらいになったらいいとお考えですか(例えば：夜はゆっくり眠りたい等)

9. 現在使用されている鎮痛剤は、何という薬ですか、気になる副作用はありますか？

薬品名： _____

副作用： _____

1) 現在の痛み止めはどれくらいの時間効いていますか

薬は効かない
 1? 2時間
 3? 4時間
 5? 6時間
 7-11時間
 12時間以上

10. 痛み止めに関して、あなたの考えに近いものがありましたらチェックしてください。

痛み止めは身体に良くない
 痛みはなるべく我慢したほうがよい
 痛み止めは中毒になる
 副作用が心配である
 その他 (_____)

痛みの記録

氏名

○ 気にならない良眠 △ まあまあ × 気になる不眠

NRS		0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	使用時間	痛み止めの種類	睡眠	吐き気	眠気	排便	
月	日	6時											7:30	オキノーム	朝				
		8時	×	×												△	×	○	
		10時																	
		12時																	
		14時											14:00	オキノーム	昼	オキシコドンを始めてから眠い			
		16時													○	△	×	○	
		18時																	
		20時	×					×					21:00	オキノーム	夕				
		22時																	
		0時	×																
		2時																	
		4時																	
月	日	6時											8:00	オキノーム	朝				×
		8時	×													×	△	ブルゼニド2錠	
		10時																	
		12時																	
		14時											16:00	オキノーム	昼	朝から気持ち悪い		朝に便が出なかった	
		16時													△	×	△		
		18時	×																×
		20時											20:00	オキノーム	夕	吐き気止め飲んだ			
		22時																	
		0時																	
		2時																	
		4時																	
月	日	6時																	
		8時																	
		10時																	
		12時																	
		14時																	
		16時																	
		18時																	
		20時																	
		22時																	
		0時																	
		2時																	
		4時																	
月	日	6時																	
		8時																	
		10時																	
		12時																	
		14時																	
		16時																	
		18時																	
		20時																	
		22時																	
		0時																	
		2時																	
		4時																	

痛みの記録記入例

副作用の状況を記載

疼痛緩和治療が開始、または変更された時などに活用する

- ・使用した鎮痛薬
 - ・副作用について
 - ・レスキュー使用時間、効果の有無など
 - ・気になった事など
- を中心に記入してもらう

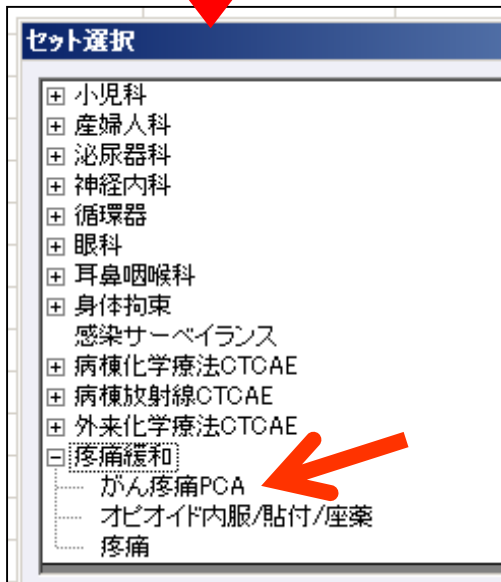
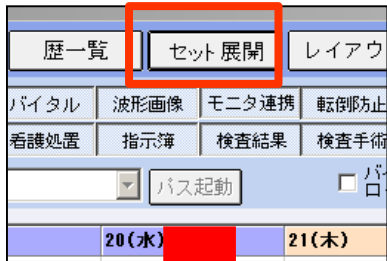
レスキュー使用とその後の効果など

レスキュー使用時間と薬剤名を記載

診療録（経過表への記載方法）

◆ PCA、シリンジポンプで投与している場合

- セット展開「がん疼痛PCA」を選択し、オピオイド投与量、ボーラス(リクエスト、有効)、NRSを記載する。
投与終了時は、必ず有効期間設定にて終了日入力を行なう。



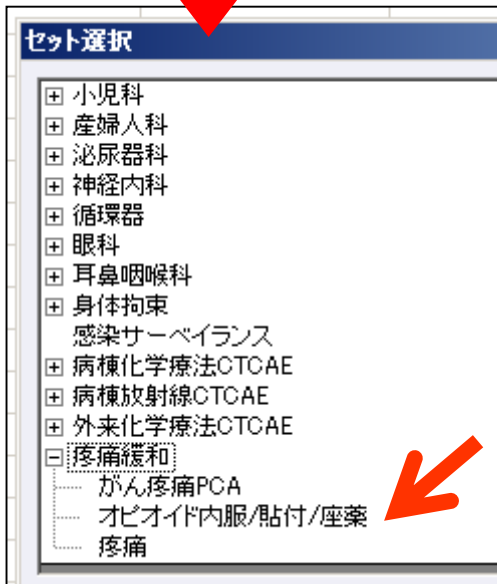
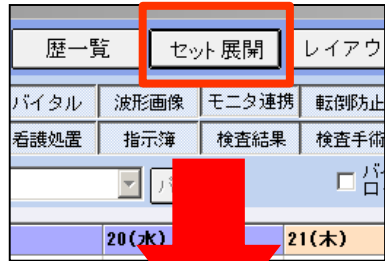
項目	記入場所	書き方
オピオイド投与量 (mg)	経過表 (測定欄)	経過表の〆の時間に1日投与量を記入 単位(mg)
ボーラス(リクエスト)		各勤務帯終了時と1日〆の時間(4回/日)に担当時間内の使用回数(注:積算回数ではない)を記入(合計回数は自動計算) 経過表の〆の時間(一般:9時、重症:6時)にポンプの履歴をクリア
ボーラス(有効回数) シリンジポンプ早送り回数		
NRS (0-10)	経過表 (観察欄)	各勤務帯(3回/日)
副作用 (悪心・便秘・眠気・呼吸回数など)	経過表 (観察欄)	必要時に悪心・嘔吐、眠気、呼吸数の低下などについて記載する。便秘については、経過表の排便状況を適宜観察する。

* 独自のエクセル表などは使用せず、経過表への記入を原則とする。

診療録（経過表への記載方法）

◆内服薬、貼付剤、坐薬などを投与している場合

- 薬歴登録、セット展開「オピオイド内服・貼付・坐薬」を選択し、オピオイド投与量、レスキュー回数、NRSを記載する。投与終了時は、必ず有効期間設定にて終了日入力を行なう。



項目	記入場所	書き方
オピオイド投与量(mg) ベース	経過表	経過表の〆の時間に1日投与量を記入 単位(mg)
オピオイド投与量(mg) レスキュー		
レスキュー回数	経過表 (測定欄)	各勤務帯終了時と1日〆の時間(4回/日)に担 当時間内の使用回数を記入(合計回数は自動 計算) 経過表の〆の時間(一般:9時、重症:6時)
NRS (0-10)		各勤務帯 (3回/日)
副作用 (悪心・便秘・眠気・ 呼吸回数など)	経過表 (観察欄)	必要時に悪心・嘔吐、眠気、呼吸数の低下など について記載する。便秘については、経過表の排 便状況を適宜観察する。

* 同時に薬歴登録を行うことでレスキュー使用状況(回数、時間)の把握がしやすくなり、ペインスケールの変動と併せて観察することができる。